

Title	新産業を創造する：宇宙ビジネスを事例として
Sub Title	
Author	青木, 英剛(Aoki, Hidetaka) 山根, 節(Yamane, Takashi)
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	2012
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 2012年度経営学 第2719号
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00002012-2719

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

慶應義塾大学大学院経営管理研究科修士課程

学位論文（ 2012 年度 ）

論文題名

新産業を創造する — 宇宙ビジネスを事例として —

主 査	山根 節 教授
副 査	小林 喜一郎 教授
副 査	岡田 正大 准教授

2013年 2月 28日 提出

学籍番号	81130021	氏 名	青木 英剛
------	----------	-----	-------

論文要旨

所属ゼミ	山根節研究会	学籍番号	81130021	氏名	青木 英剛
(論文題名)					
新産業を創造する — 宇宙ビジネスを事例として —					
(内容の要旨)					
<p>Apple や Google のような革新的企業はなぜ現代の日本から生まれないのだろうか。これらの企業は、関連企業の起業を促し、大きな産業を生み出した。かつての高度経済成長期はホンダやソニーを代表とする世界的企業が日本からも生まれていた。しかしながら過去 30 年を遡っても革新的な企業の誕生はごく僅かである。日本企業の時価総額ランキング上位を見ても、通信や IT 系企業数社を除くと長寿企業がほとんどであり、新興企業の活躍が少ない。</p> <p>日本の宇宙産業においても同様な状況が言える。欧米では民間企業による宇宙ビジネスが盛り上がり、ベンチャー企業の参入も増えているが、日本では未だに公共事業の状態であり、ごく一部の大企業では民間の宇宙ビジネスは成立しているが、「産業」とは呼べない状況にある。</p> <p>日本経済の活性化と雇用創出のためには、新産業の創出が必要であると考えます。その一例として日本の宇宙産業を、公共事業としてではなくビジネスとして成立させ、民間企業やベンチャー企業の参入を促すことで将来の日本の成長産業に育て上げることを本研究の目的としている。</p> <p>民間主導による宇宙ビジネスや宇宙の産業化といったテーマの研究は過去にほとんど行われておらず、先行研究なども見られない。本研究では、まずインタビューや学会などへの参加により、有識者からの最先端の情報を収集した。そして宇宙分野において、どうすればビジネス化、そして産業化が可能かについて導き出している。実際に宇宙に着目することで、日本の技術戦略や他の製造業の方向性が見えることを期待している。また、宇宙開発は究極のものづくりと言われており、他業界への応用の可能性も多いにあると言える。宇宙の産業化に加えて、新産業創造についての示唆や日本の未来予想図についての提言も合わせて行いたい。</p>					